

啓伸塾便り

9月
September
長月

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、秋の新人塾生募集中

期末テストが終わって思っていること

「頑張れない」「手を止めてしまっている」
社会に生きる学びのための見直し、目的、使命感 あり
テストで点数を取る子は、ちゃんと勉強をしています。そうでない子は、学校の宿題だけをやっていきます。それも書くだけ。問題を解くのではなく、答えを写しているだけ。テストの点数なんて眼中になさー

この違いは、なんでしょうか。

第一に考えられることは、「頑張れる」か、「頑張れない」かの違いです。つまり、やる気があるか、どうやるかの違いです。

やる気は「使命感」が三つの段階があります。それは、「見直し」「地図」「使命」です。

「見直し」は、どれだけやらなければ自分の目的や目標が達成できるか、もしくはその努力が報われるか、といったもので、言わば地図のようなものですね。

目的が初めての場所であればそこに行くにしても、地図がないとどうやって行っているのかイメージできません。地図を見て場所がイメージできれば、「どう行けばいいのだから」当たりを付けることができます。

同じように「やらねば」の「努力は報われる」という言葉を大人に言われても、本人の能力に比べてあまりにも高い目標や、または大人の過剰な期待から生じた目標であれば、どうすれば達成できるかイメージできません。

この「見直し」ができていない子は、この「やらねば」は、具体的なイメージができていない状態です。

なぜ数学を勉強しなければならないのか 長年の疑問にチコちゃんが解説

以前、放送された『チコちゃんに叱られる!!』(NHK)で扱われたテーマの1つ、「なんで数学を勉強するの?」が話題となっています。「大人になってから数学は何の役に立つの?」という人もいます。実際に仕事を含め日常生活で使わない人も多いですが、なぜすべての人が数学をある程度まで勉強するのでしょうか。

◆論理的な思考が身につくから

チコちゃんの気になる回答は、「論理的な思考が身につくから」ということです。論理的な思考とは筋道を立てて考えることで、生きていく上では絶対に必要な能力です。

また、論理的な思考が身につければ、自分の考えを、簡単にわかりやすく、人に伝えることができます。

小学校のときは算数、中学以降は数学と、この2つは似ているようで違う学問です。算数は、日常生活で使うレベルの計算力を養うもの、それに対して、数学は、問題を整理して答えを導く学問で、論理的思考を身につけるものであると解説しました。

◆日常に潜む数学

日常には多くの数学が潜んでいるといいます。500円で50円のを何個買えるかというのは、一次方程式を無意識に使い、物事の手順を考えるのは、因数分解、相手に分かりやすく説明するのも論理的な思考が問われます。

小学校の算数で身につけたい計算力は、生活していく上で、例えば料理、洗濯、買い物、車の運転、時間の計算などにも必要不可欠で、知らない間に使っています。また、中学からの数学は、論理的な思考を身につけるための勉強です。これは、人として社会で生きていく上で必要です。

計算力・論理的な思考、それらを身につけていけば、生活が非常に便利になります。
知らないと損をするということです。

9月の予定

中3生入試対策講座

9月13日(土)午後1時30分から毎週土曜日始まります。夏期講習から始まった受験勉強が本格化します。ご予約ください。

祝日の授業について

9月15日(月)敬老の日・23日(火)秋分の日は、小・中学生とも授業を行います。

第2回漢字検定

11月7日(金)第2回漢字検定を行います。締め切り日10月1日(水)です。

特に中3生は、受験勉強の一環として受験をお勧めします。

また、高校受験での願書に載せられる最後のチャンスになります。

中学生は9月から11月に実力テスト・定期テストが行われます。定期テストは、夏休み明けからの勉強内容が範囲になります。気を引き締めて毎日授業に向かいましょう。

「見直し」ができないと何をやるにも不安で、頑張ることも困難になるでしょう。周囲の大人がそれをサポートしなければなりません。
具体的には、今学校で習っていることがしっかりと理解できているか。それが理解できていけば、テストでも問題が解けると自信をつけてもらいたい。そして、その習ったことを使って、問題を解けるように導くことです。
問題が解けたという成功体験が、次へと繋がります。そのためには何より勉強時間を増やさなくてはなりません。
テストで点数の取れない子は、勉強をしません。自宅では勉強をしたふりをしてスマホをいじって、ゲームやSNSばかりしています。
このスマホをいじる時間を勉強に充てないと、テストで点数を取れるようにはなりません。

ここまでを振り返ると、勉強をがんばるようになるための第一ステップは、「見直し」を持つことです。「がんばれ」「やればできる」といった抽象的な言葉ではなく、何をやるかという具体的な方法を教える。これを覚えれば、できるようになるという具体的なことを教えて、理解・納得してもらいましょう。

多くの人たちは、ここで満足してしまいます。これでは問題を解けるようにはなりません。

肝心なことは、その先です。覚えた知識を使って、今度はひとりで問題を解くことです。そして問題が解ける成功体験を味わうことです。その体験が次へと繋がって、勉強時間が増えていきます。

特に、テスト直前の勉強は、覚えることをノートにまとめるとか、英単語や漢字を何度も書くといった勉強ではなく、問題を解くといった、考える(頭を使う)勉強を心がけましょう。
そして、安易に「人に聞けばいい」と頼むなという事です。一人で考えるという事です。